

# 2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」			
題名・副題	ふしぎな、不思議な種の世界 ～植物の繁殖戦略～			
月日・時間	11月7日(土) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・1階会議室・隣接公園			
部会・講師名	自然環境部会 品川高儀	参加数	4名	講師数 3名
写真				
	辛夷(コブシ)の木を観察、解説		ソメイヨシノの冬芽を観察、ノートにメモ	
				
	オオバコの茎で相撲遊びする様子		園内で見つけた「どんぐり」など	
成果解説	<p>この教室は、樹木などが越冬する様子や種(タネ)を観察しながら、その仕組みや不思議さについて理解を深めます。コロナ禍中に小学3～5年生の4名が参加してくれました。</p> <p>授業は、室内でプログラム説明と好きな食べ物紹介でのアイスブレイクから始めました。次に園内に出て植物を観察、オオバコが車前草と呼ばれる理由やケヤキの着果短枝(花をつける小枝)を説明しました。その他にソメイヨシノ、コブシ、シラカシ、クスノキなどを観察しながらそれぞれの特徴を解説しました。特に木々の冬芽の仕組み、オオバコ、タンポポなどロゼット(葉を放射状に広げバラの花のように見える様子をロゼットと呼ぶ)で冬を越す植物も解説しました。子どもたちは観察して気付いたことや解説の内容を観察ノートにメモを取りました。</p> <p>室内に戻って、自然観察ノートの記録を仕上げ、仕上げの時間にはスタッフがレイチェル・カーソンの「センス オブ ワンダー」を朗読し紹介しました。最後に、折り紙とクリップなどで種の模型を作って飛ばしました。アンケートには「どんぐりを育ててみたい」、「木の種のことをもっと詳しく知りたい」などの好奇心が見受けられました。</p>			